

## 高富児童館だより

高富児童館 Tel22-4750

### 大人もこどももワクワク！ドッジビー大会

ドッジビーは、ドッジボールとフリスビーを組み合わせた遊びです。毎週土曜日は、1階遊戯室の全面を使って、ドッジビーを行っています。午前と午後で各1回15分間だけですが、この時間を楽しみにやってくるこどもたちも多いです。

小学生だけでなく、パパやママ、園児さんも加わることがあります。小学生の勢いよく投げる高速フリスビーに、歓声をあげたり、逃げ回ったり、こどもから大人まで楽しめる時間になっています。

今回は、チームを作って総当たり戦で大会を行います。こどもたちと対戦したい大人も大歓迎。やわらかいフリスビーを使うので、初めての人や園児さんでも安心です。一緒に冬の寒さを吹き飛ばしましょう。

#### 大人もこどももワクワク！ドッジビー大会

|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 日時   | 1月24日(土)<br>13時30分～15時          |
| 場所   | 高富児童館 1階 遊戯室                    |
| 申し込み | 直接来館するか電話、インスタグラムのDM(当日参加も可能です) |



## 地域包括支援センターだより

閑南部地域包括支援センター Tel22-6886  
閑北部地域包括支援センター Tel52-3340

### 「A C P」を知っていますか？ アドバンス・ケア・プランニング

ACPとは、アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning) の略で、厚生労働省による愛称は人生会議です。

命の危険が迫った状態になると、約70%の人が医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなるといわれています。自分自身のことを前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。

ACPは、もしもの時に備え、将来の医療やケアについて本人を主体に、その家族や近しい人、医療、ケアチームが繰り返し話し合い、本人による意思決定を支援する取り組みです。一度決めたら終わりではなく、健康状態の変化や気持ちの変化に応じて、繰り返し話し合い、記録を見直していくことが大切です。



ACPは病気になってからではなく、元気な時から始め、節目で見直すことが効果的です。家族や身近な人と話し合ってみると良いですね。

# 一連 載わがまちの歴史再発見

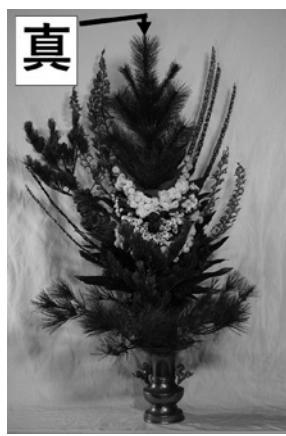
→先人から次世代へつなぐ  
民俗文化財舞台公演会を開催します。

そこで披露される文化財を紹介します。  
問生涯学習課文化財調査室 TEL32-9008

## 23 立華

立華

市重要無形民俗文化財



立華は生け花の様式で、元々供花として仏教とともに日本に伝来し、室町時代に床飾りへと波及しました。立華を作ることを「花を立てる」といい、山野の自然を借用し仏花器にありのまま生けることを大切にしています。

伊自良地域の立華は、浄土真宗本願寺派寺院三ヵ寺が行う報恩講※に際し、供花として左右対称に立てられるもので、直真と除真、松一式の三技法があります。直真是真が真つ直ぐで素直な人間の精神を表し、除真是真が湾曲しており、山あり谷ありの人生を表します。松一式は除真の一種で松のみを使用し、祝い事の際に立てられます。伊自良地域では天文元(1532)年に初代仏花師が誕生し、以後江尾家がその技術を受け継いできました。現在は伊自良立華保存会として活動し、宗旨問わず誰でも参加できます。伊自良地域に伝わる貴重な民俗文化財に皆さんも触れてみませんか。興味がある人は問い合わせてください。

※浄土真宗宗祖の命日の前後に當まる法要

▶除真(のきじん)

# 連載 さくらっと輝く! さくらカンパニー



## 26 さくらステップ3

サンソマプライテック株式会社

### ✿こじがさくらカンパニー

企業理念などについて、取締役の山田哲也さんから話を聞きました。

「街や社会にとつて不可欠な存在(＝酸素)でありたい」という思いが社名の由来となっている。

・担当業務を共有することで、緊急時でも休暇取得しやすく、有給取得率は、ほぼ100%。

・社内の風通しが良く、年代・性別問わず相談しやすい環境が整っている。

✿わが社のさくら  
「先輩方が優しく、働きやすい職場です」と語る津野ななみさんに話を聞きました。

市では、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進に積極的な事業所を山県市さくらカンパニーとして認定しています。ここでは、認定企業の取り組みを紹介します。

問企画財政課 TEL22-6825

私たちの職場は、工業用プラスチックボビン・コアなどの製造・販売を行っています。そのなかで私は加工、検査、梱包を行っており、出来上がった製品が



▲津野ななみさん(左)と山田哲也さん(右)